

平成27年度 青果物輸出特別支援事業(平成28年度実施)に係る海外フロンティア市場販売
促進の支援報告書

平成28年 5月27日

農林水産省
生産局長 殿

全国農業協同組合連合会
営農販売企画部
輸出推進課

平成27年度補正における青果物輸出特別支援事業に係る海外フロンティア
市場販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : EU(イギリス)

実施期間 : 平成28年 5月21日～ 5月22日

(フェアに係る出張 : 平成28年 5月19日～ 5月24日)



「TKトレーディングJA全農フェア」

1. 『TKトレーディングJA全農フェア』について

(1)期間 : 平成28年5月21日(土)～5月22日(日)

(2)場所 : イギリス ロンドン TKトレーディング 特設会場

(3)出席者 : TKトレーディング
本会 営農販売企画部 輸出推進課

河本社長
羽山課長、澁谷

(4)内容 :
イギリス・ロンドンで、青果物の販促企画として「JA全農フェア」を実施することにより、日本産農産物のPR、販売拡大に取り組んだ。
TKトレーディング直営店に特設売り場を設置し、5月21日(土)9:30～16:00、5月22日(日)10:00～16:00の期間に青果物などを陳列してPRした。

(5)販売青果物(野菜・果実)
品目詳細は、表①を参照



表① 青果物(野菜・果実)

番号	商品名	産地	規格	ケース 入り数	ケース 重量kg	数量
1	アールスメロン	熊本・長崎	6玉	6	7.8	1
2	すいか	熊本	L up	2	15	1
3	りんご(さんふじ)	青森	特A	32	10	1
4	りんご(ジョナゴールド)	青森	特A	32	10	1
5	白菜	大分	4玉	4	20	2
6	長ねぎ	大分・熊本	2L,L	10	6	2
7	かぼちゃ	鹿児島	5-7玉	1	10	1
8	こねぎ(万能)	福岡	100g	30	3	1
9	れんこん	佐賀	2L,L		4	2
10	みょうが	高知	50g	40	2	1
11	ながいも	北海道	3L	9-10	20	2
12	洗いごぼう	鹿児島・熊本	4L-2L	10	4	2
13	甘藷(なると金時)	徳島	L	18	10	2
14	甘藷	宮崎	M	18	5	1
15	にら	大分	100g	50	5	1
16	大葉	愛知	100g	20	2	1
17	水菜	茨城	200g	25	5	1
18	小松菜	兵庫	200g	20	4	1
19	春菊	大阪	180g	20	3.6	1
20	長なす	熊本	L 33本	1	4	1
21	キャベツ	大分	L	8	10	1
22	大根	鹿児島	AL	10	70	7
23	トマト(高糖度)	福島	A	9.10.12	1	1
24	きゅうり	福岡	A	3本X30	27	3
25	ゴーヤー	宮崎	2L	12	3	1

2. TKトレーディングとの打ち合わせ（着荷状況確認、フェア準備等）

(1)日時 : 平成28年5月20日(金) 10:00～16:00

(2)場所 : イギリス ロンドン TKトレーディング 会議室

(3)内容 :

TKトレーディングの会議室で、河本社長と輸出商品の着荷状況の確認、今回のフェア内容を
確認し、輸出の拡大に向けて打ち合わせをおこなった。打ち合わせの詳細は以下のとおり。

ア. 白菜、甘藷の一部の品質が悪かった。原因は空輸中に冷気が当たったためと想定される。

イ. 加工品「りんご」ジュースの評判がいい。現地の青果卸から引き合いが来ているので、物流も
含めて検討を行った。

ウ. 今回のフェアでは日本産青果物を味わってもらうため、欧風カレーやみそうどん、松花堂弁当
を販売するほか、有名日本食シェフが日本産米を使った寿司の実演販売を行う。

エ. 青果物と一緒に販売している日本産米については新たに2社の業務用卸に販売を開始した
こともあり、目標達成に向けて月1コンテナの頻度で発注したいと考えている。

オ. 日本産青果物を中心にした全農フェアは、お客様から認知されつつあり、さらなる定着化に向
けて年間複数回の開催も可能。



TKトレーディング河本社長との準備打ち合わせ、青果物の商談

3. TKトレーディング特設会場での「JA全農フェア」実施

(1) 期間 : 平成28年5月21日(土) 9:30~16:00(本会職員対応)
平成28年5月22日(日) 10:00~16:00(本会職員対応)

(2) 場所 : イギリス ロンドン TKトレーディング特設会場

(3) 内容 :

フェア開催両日とも晴天に恵まれたこともあり、会場内は常時多くの来店者で賑わいを見せ、販売も好調であった。

日本の青果物は「大根」や「きゅうり」、を中心に販売は好調であった。一方で「アールスメロン」については、欲しいとの声も多く聞かれたが高価格がネックとなり、なかなか販売が進まなかった。

また、日本産青果物を使用した欧風カレー、みそうどん、弁当は、その場で食べることもでき、家族連れを中心に人気を博した。

なお、フェアを開催するにあたり、事前広告として、現地日本人向け週刊情報誌「ジャーニー」に「JA全農フェア」の宣伝を掲載し、フェア開催の周知を図った。また、会場には「JA全農フェア」ののぼり、ポスターを掲示し、PRした。



売り場設営準備



本会が手配したポスター、のぼり等で飾り付け



フェア特設会場の入り口付近



フェア会場内



会場内の飾り付け



本会職員によるお客様への商品説明、PR



野菜、果実を選定されるお客様



熊本・長崎「アールスメロン」¥51.23/個



青森「りんご(サンふじ)」¥4.84/個



鹿児島「大根」¥4.99/本



大分「白菜」¥2.49/個



北海道「ながいも」¥2.27/本



鹿児島「かぼちゃ」¥3.99/個



佐賀「れんこん」¥11.74/kg



愛知「大葉」¥1.56/パック



徳島「甘藷(なると金時)」¥17.63/kg



福岡「きゅうり」¥1.95/パック



熊本「洗いごぼう」¥5.99/パック



大阪「春菊」¥3.99/パック



日本食材を使用したお惣菜コーナー



「みそうどん£12.00」「天丼£12.00」「欧風カレー£12.00」「松花堂弁当£20.00」

4. 所感

今回の英国ロンドンで実施した「JA全農フェア」は、両日とも晴天に恵まれ、日本人を中心に多くのお客様で賑わった。

英国TKトレーディング社の企画・協力により、日本の青果物を使用した料理提供で、実際に味わってもらうことで、総合的な日本食材の訴求を図り、販売効果をより高めることができた。

来場者の多くは在留邦人が中心であり、食への関心が高いお客様が多く、野菜や果実、米など日本食材の継続的な購入を望む声があった。特に大根についてはお客様から「日本産はやはり現地のものとは違う」といったお声も聞かれ、日本産青果物への評価は高かった。

一方で、今回フェア用に空輸した「甘藷」、「白菜」の一部に品質劣化が見られた。輸送時の一時的な低温が劣化を招いたものと想定されるが、原因追究により今後の物流改善を図ることとしたい。

フェア全般を通してお客様と接することで、着実に英国・ロンドンにおいて日本産農産物が定着しつつあると実感することができた。ただし、お客様の多くは現地駐在の日本人であることから、今後はローカルに対しても普及拡大が必要であると感じた。

5. フェアの成果及び今後の進め方

(1) フェアの成果

○フェア開催により現地での日本産青果物の認知度向上、販売拡大に寄与することができた。

○また、物流面での課題を把握し、今後の改善を図る機会を得ることができた。

(2) 今後の進め方（「全農フェア」の開催）

○顧客が希望する旬の青果物等の出荷可能な時期に、「JA全農フェア」を計画し、さらなる日本産農産物の普及を図る。

○TKトレーディングの加工品の要請をふまえ、青森産「りんごジュース」の輸出に向けた物流等の検討を行う。